

Tadahito Mochinaga Puppet Animation Filmmaker

N 東京国立近代美術館フィルムセンター
F National Film Center
C The National Museum of Modern Art, Tokyo



展覧会

人形アニメーション作家

持永 只仁

もちなが ただひと

中国の動画界を育て、若きティム・バートンも魅了した、
日本の人形アニメーションの祖



2017年
5.13_土 ▶ 9.10_日

月曜日は休室です。

東京国立近代美術館フィルムセンター 展示室(7階)

開室時間: 午前11時—午後6時30分(入場は午後6時まで)

料金: 一般250円(200円)/大学生・シニア130円(60円)/高校生以下及び18歳未満、障害者(付添者は原則1名まで)、MOMAT/バスポートをお持ちの方、キャンパスメンバーズは無料

料金は常設の「日本映画の歴史」の入場料を含みます。()内は20名以上の団体料金です。*学生、シニア(65歳以上)、障害者、キャンパスメンバーズの方はそれぞれ入室の際、証明できるものをご提示ください。

*フィルムセンターの上映企画をご覧になった方は当日に限り、半券のご提示により団体料金が適用されます。

主催: 東京国立近代美術館フィルムセンター

協力: 一般社団法人日本動画協会、日本アニメーション学会、日本アニメーション協会 特別協力: 北京電影学院

東京国立近代美術館ホームページ <http://www.momat.go.jp/>

写真(上から時計回りに): 「ちびくろ・さんぽのどらいじ」(1956年)より/「少年と子だぬき」(1992年)より/「ルドルフ 赤鼻のトナカイ」(1964年)より/「瓜子姫とあまのじゃく」(1956年)より/「王さまになったきつね」(1959年)より

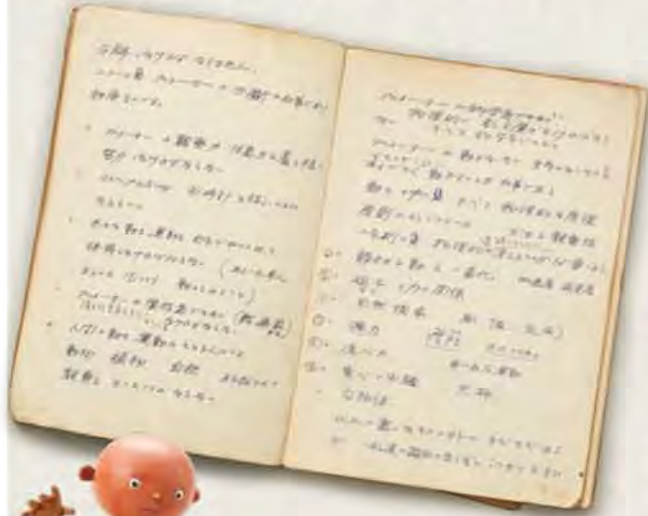


日本に国産アニメーション映画が誕生して一世紀を迎える2017年は、その先駆者たちの足跡をたどるまたとない機会です。切り絵、セル、影絵といった技法を開拓した数々の作家が現われた中で、人形アニメーションという新分野を切り拓いたのが持永只仁(1919-1999)です。

東京に生まれ、佐賀や中国・長春で育った持永は1939年に芸術映画社に入社、瀬尾光世のもとでセル・アニメーションの修業を積み、『アリチャン』(1941年)では日本初の多層式アニメーション撮影台を開発しました。中国に渡った1945年に終戦となり、以降は新生中国の撮影所設立に力を尽くすとともにアニメーションの製作を指導、後の中国アニメ界をリードする多くの人材を育てています。1953年の帰国後は人形映画製作所を率いて『ちびくろ・さんぼのとらたいじ』(1956年)などの名作を送り出し、またその後も『ルドルフ 赤鼻のトナカイ』(1964年)などアメリカのテレビ・劇場向け作品に携わります。とりわけ『怪物の狂宴』(1967年)は、少年時代のティム・バートン監督にも強い印象を与えました。

日中両国における人形アニメーションの創始者であり、アメリカの子どもたちも魅了した持永は、日本のアニメーション史においても独自の国際性を持つ存在です。この展覧会では、持永家で長く保管されてきた人形たちや製作資料、さらに写真や作品映像も交えながら、卓越したクリエイターであり優れた教育者でもあったその生涯に迫ります。また長い時を超え、弟子の川本喜八郎らが造形した愛らしい人形たちにも出会う機会となるでしょう。

企画協力:木村智哉(アニメーション史研究、明治学院大学非常勤講師)



持永の制作ノート
「アニメーションの仕事」
(1957-1962年)



持永による北京電影学院
「动画讲文」テキスト(1985年)



『ぶんぶくちやがま』(1958年)より

特別
イベント

1970年代末から、北京電影学院で持永の薫陶を受けた中国のアニメーション関係者が来日、師・方明(持永の中国名)の思い出を語ります。

8月12日④ 14時～ 中国のアニメーションと持永只仁

- ゲスト 孫立軍氏(北京電影学院副院長)
李劍平氏(北京電影学院动画学院院长)
聞き手 小出正志氏(東京造形大学教授、日本アニメーション学会会長)
和田敏克氏(東京造形大学准教授、アニメーション作家)

※詳細は後日ホームページなどでお知らせいたします。

5月27日④ 持永只仁——その国際性

小野耕世氏(映画・漫画評論家) & 持永伯子氏(持永只仁長女)

7月15日④ 心理学から見た持永只仁作品

横田正夫氏(日本大学文理学部教授、日本アニメーション学会前会長)

9月2日④ 日本アニメーション映画史の中の持永只仁

おかだえみこ氏(アニメーション研究家)

※詳細は後日ホームページなどでお知らせいたします。

トーク
イベント



『ふしぎな太鼓』(1957年)より

関連
企画

上映

人形アニメーション作家 持永只仁

7月22日④~7月23日④

会場:フィルムセンター小ホール(地下1階)

※詳細は後日上映チラシ、ホームページなどでお知らせいたします。



〒104-0031
東京都中央区京橋3-7-6
お問い合わせ:ハローダイヤル 03-5777-8600
東京国立近代美術館ホームページ
<http://www.momart.go.jp/>

NFC 東京国立近代美術館フィルムセンター
National Film Center
The National Museum of Modern Art, Tokyo

交通
東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分
東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分
JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

長瀬映像文化財団

フィルムセンターは長瀬映像文化財団の支援を受けています。

